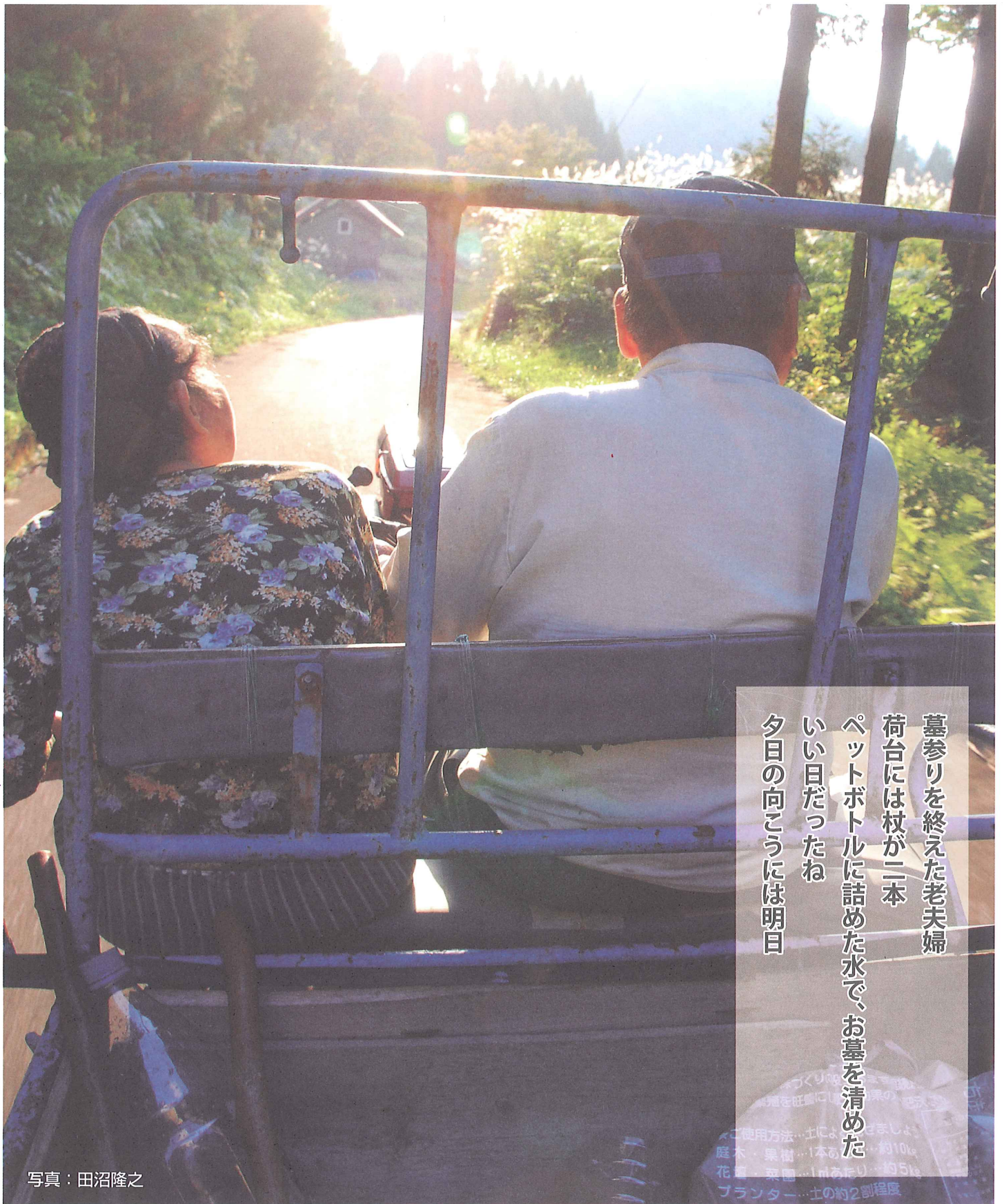


奥会津だより



墓参りを終えた老夫婦
荷台には杖が二本
ペットボトルに詰めた水で、お墓を清めた
いい目だったね
夕日の向こうには明日

写真：田沼隆之

※使用方法…土によ
庭木・果樹…1本あたり約10kg
花壇・菜園…1㎡あたり約5kg
ブランター…土の約2割程度

じいちゃんの子供の頃

小平 陸★三島町立三島中学校 一年



じいちゃんが中学生の時、どんな生活をしていたの？
「へえーすごいなと思いました。」

「じいちゃんが子供の頃は、勉強をやらなくてもいいから、家の農作業の手伝いをしたんだ。」

六月の、農繁期には、学校全体が休校になり、みんな家の手伝いをしたんだ、西方は水が豊富じゃなかったからな、この休みの時は、田んぼに行って水番をして泊った

「田んぼが終わるとな、さなぶりの日から男子だけ虫送りの準備をしたんだ。三年生が親方になって、なたと、ノコを持って木を切る。下級生はな、なわと、紙、ろうそくを村の人からもらったんだ。おまえたちは、親たちに木切り手伝いしてもらってつけどな、俺たちは自分たちで木切ったんだぞ。今の暮らしとぜんぜん違うべ。」

ぼくたちは、普通に生活していますが、じいちゃんたちが子供の頃は、大人と同じく働いていたのがすごいと思いました。だからぼくも家の手伝いを少しでもやりたいたいと思いました。

取材ノート

Q: この集合写真はいつの頃ですか？
廣市さん: オレらが中学三年時の修学旅行だね。塩竈神社。

Q: 同級生は何人でしたか？

廣市さん: 西方中学校五十八人一クラスだった、少し足りなくて二クラスになんがった。

Q: 家の農作業を手伝っていたのですか？

廣市さん: そうそうそう、勉強よりも家の仕事やりなさい、って。「勉強やれ」なんて親に言われた事ないな。学校から帰ってくつと、テーブルにメモがあつて「どこそこの山さ来い」っていうわけ。

Q: 山っていうのは山仕事？

廣市さん: この辺では畑のことを山って言うんだ。

Q: 山ではどんなの作っていましたか？

祖父 小平 廣市さん

(昭和18年1月7日生 71歳)

孫 小平 陸君

(平成11年7月1日生 14歳)

(三島中学校 2年)

廣市さん: 豆、小豆、陸稲(おかげ)、蕎麦、サツマイモ、いろんなもの作っていました。

Q: 家の手伝いは嫌でしたか？

廣市さん: 嫌だったわい、金持ちの家の子は遊んでつけども、オレ家は間に合わないから、山さ連れていわれる。「月給取りの家の子めらとまってごになつてんな」って言われて・・・。遊んでいる子たちは、うらやましがった。

夏は暑いから、親達は昼休みしている。その間、只見川で水浴びの遊びに行く、「三時の上り(汽車)行ったら帰って来いよ」って言われて、また手伝いに行く。

Q: 田んぼの水番というのは？

廣市さん: 昔から西方は水が豊富じゃなかったから、田んぼの水かけ出来れば一人前だと言われた。自家家の田んぼのミナクチ(水口)に行つて、ムシロ敷いて水番。大人も子どもも一人は一人。大人は多く子どもは少ないではなくて、水を分けるのは五分だから。ウチのおふるなんか朝昼晩弁当持つて、泊りがけだったよ。

Q: 虫送りは男子だけ？

廣市さん: 子どもがいっぱいいたら、準備は男だけでやっていた。中学三年生が親方になってやるの。虫送り



の木を伐る山が決まっていた。「でんばら虫の追いくらヨイヨイ」って太鼓に合わせてやった。

Q: 夏休みは？

廣市さん: 夏休みは「カノ焼き」。燃やした所をトングワ(トグワ)っていう厚いカネのクワで木の根を起こしたんだ。「カノウナイ」な。

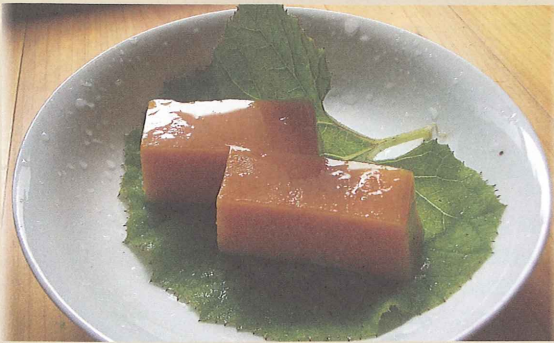
Q: 陸君、じいちゃんから話を聞いてみてどうでしたか？

陸君: 今の中学校生活と全然違っていて、新鮮で面白かったです。

※帰るときに、引き出しから「肥後の守」(小刀)を取り出した廣市さん。「子どもの時にこれを腰にぶら下げて遊んだものよ。」

奥会津の食材と料理

かぼちゃゼリー



一度には使い切れない大きなかぼちゃ。ゼリー寄せは人気の一品。軟らかく煮たカボチャをつぶして、全量の半分程度の牛乳と好みの量の砂糖を加え、火にかけて攪拌する。250ccから300ccに一本の割合でゼラチンスティックを溶かし入れ、ゼラチンが溶けるまで弱火で加熱後、器に入れて冷やす。しっとりとした食感の水羊羹にも似て、自然の甘さがうれしい。

奥会津の生き物たち 神様とんぼ



緑色に胸部が輝く神様とんぼ。昭和村大岐には数種類の渓流の糸トンボ類がいるが、そのなかの1種。羽根を合わせて止まる姿が、両手を合わせた合掌に似ていることと、集落の飲料水を供給する渓流に生息することから「神様」を冠して、世代間伝承してきたのではないか。水田の周囲で夏に生まれたトンボ(アキアカネなど赤とんぼ)は、いったん山に上がり、これから集落付近に降りてくる。(写真・文 菅家博昭)

再生されたモノたち



押部明郎さん(90)が作る箕(み)は、使用済みの一斗缶を半分に切ったもの。使いやすいように形を整え、切り口は金槌でいねいに叩いて平らにする。縁には15ヶ所穴を開け、山で採ってきた根曲がり竹2本を針金でしっかり留めつける。豆のゴミを選り分けたり、引いた草を入れたり、チリトリにも便利。「ご近所などにあげて喜んでもらえることが嬉しい」と手作りを楽しんでいる。



ミョウガの花

春に爽やかな香りと味を楽しませてくれたミョウガタケが大きく茂った。その足元に、今が旬のミョウガが顔を出している。あっという間に花が咲いてしまうので花穂が硬いうちに採取するが、摘んできたカゴの中でもいつの間にか花が咲いている。一瞬の美しい姿。

自然に添った暮らし

写真・文 竹島 善一

勝手口のそばに菜園がある。手の内で事が足りる。つつましやかな生活の気配が見てとれる。茅屋根の頂上には土を盛り、重しとする。そこへ草花を植える。正に空中の庭である。質素な生活の中のこの美意識こそ、日本人ならではのものである。わずかな物、事で、豊かに美しく生きる。

(昭和51年9月 南会津町伊南)



方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「まってご」

ヒント：P2. 聞き書きをご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、檜枝岐村の「木製皿(写真の素材はセンノキ)」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979

奥会津書房 宛

●応募締切：2013年10月15日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号77号で発表いたします。



◎75号「うぶって」の答え：「おぶって もしくは 背負って」

たくさんのご応募ありがとうございました!

読者コーナー



お便り紹介

- 道の駅に立ち寄るたびに楽しみにして愛読しています。取材ノートはまさに生きた歴史の学びになり、とても心豊かになります。(S.Kさん 福島市)
- 「ソラックチ」、はじめて知りました。生まれた里では「タンガラ」と言っていたと思います。竹製でした。(H.Tさん 大玉村)
- 食いしん坊の私は「ちそっ葉巻き」早速トライ。メッチャうまかった! 我が家のレシピに加えてさせていただきます。ありがとう。(I.Kさん 狛江市)
- 会津は広いですね! 同じ会津地方でも南会津と奥会津では又雰囲気や気候も違うように思います。これからも自然や伝統や聞き書きのような、地元の歴史を大切に、後世に伝えてゆきたいですね!(H.Kさん 下郷町)
- 奥会津には毎年、春から夏にかけてツーリングで訪れています。新緑と空気がいいですね!(I.Tさん 郡山市)

奥会津だより 定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

奥会津大学



奥会津大学では2013年度の単回受講生を随時募集しております。

詳しくは奥会津大学実行委員会まで。

☎ 0241-57-2240

10月11月 講座内容	タイトル	講師	開催日	時間	受講料	講座形式	集合場所
10月11月 講座内容	古老に学ぶ暮らしの知恵 ～「アルガナデマニヤセル」暮らしの豊かさ	渡部 和	10月5日(土)	13:00～16:00	500円	座学	交流センター山びこ (三島町)
	「暮らしの仕事」歳時記 ～民具の分類・保存方法を学ぶ～	佐々木 長生	10月20日(日)	10:00～17:00	1,000円	座学・実習	小野川生涯学習センター(昭和村)
	「ぼくが百姓になった理由」～17年目に改めて想う会津の魅力～	浅見 彰宏	11月9日(土)	10:00～13:00	500円	座学・フィールドワーク	茶房「千」(山都町)
	巡見使の道を往く 大登～(石神峠)～大谷	角田 伊一	11月17日(日)	10:00～17:00	1,000円	フィールドワーク	雪国茶屋(三島町)

奥会津イベント情報

9月中旬～11月中旬

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
9月23日(月・祝)	走ってみっぺ南会津!	館岩地域	たかつえスキー場スペース	たかつえ地区マウンテンバイクリゾート構築による地域興し事業推進委員会 ☎0241-78-3099
9月29日(日)	第39回 野尻川ます釣り大会	昭和村	下平運動広場周辺	昭和村観光協会(商工会内) ☎0241-57-3100
9月30日(月)	九月堂おこもり	柳津町	福満虚空蔵尊圓蔵寺	柳津観光協会 ☎0241-42-2346
10月12日(土)	第2回 会津やないづ赤べこまつり	柳津町	柳津観光案内所周辺	柳津町役場観光商工班 ☎0241-42-2114
10月12日(土)～13日(日)	奥会津・只見 うまいもんまつり	只見町	JR只見駅前	只見町商工会 ☎0241-82-2380
10月13日(日)	2013自然首都・只見トリムウォーク&トリムラン	只見町	JR只見駅前	只見町商工会 ☎0241-82-2380
10月19日(土)	第26回 会津高原たていわ新そば祭り	館岩地域	南会津町前沢 そば処曲家	南会津町館岩観光センター ☎0241-78-2546
10月19日(土)～20日(日)	第9回 会津の編み組工芸品展 第4回 東北六県伝統的工芸品展	三島町	交流センター山びこ	三島町生活工芸館 ☎0241-48-5502
10月20日(日)	イチョウまつり	昭和村	旧丸丸小学校	昭和村観光協会(商工会内) ☎0241-57-3100
	第51回 只見町駅伝競走大会	只見町	只見町内	只見町教育委員会 ☎0241-82-5320
	大博多山 秋の山開き 伊南川古町温泉あゆまつり	伊南地域	南会津町青柳地区 南会津町古町温泉周辺	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-76-2517
10月26日(土)	第3回 伊南川100kmウルトラ遠足	南郷地域	南郷スキー場センターハウス	南会津町観光物産協会南郷観光センター ☎0241-72-2112
10月26日(土)～27日(日)	奥会津ごっつおまつり	伊南地域	南会津町伊南・館岩地域・檜枝岐村	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-76-2517
10月27日(日)	第15回 昭和村秋味まつり	金山町	金山町民体育館周辺	金山町役場産業課 ☎0241-54-5327
	第12回 南郷トマトまつり 前沢曲家まつり	昭和村	からむし織の里	昭和村秋味まつり実行委員会 ☎0241-57-3100
11月上旬	古町の大いちょうライトアップ	南郷地域	JA会津みなみ南郷トマト選果場前広場	JA会津みなみ西部地区営農課 ☎0241-72-2554
11月9日(土)	会津柳津新そばまつり	館岩地域	南会津町前沢地区	前沢区長 小勝 周一宅 ☎0241-78-2219
11月10日(日)	只見新そばまつり	伊南地域	南会津町古町地区	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-76-2517
11月10日(日)	虫供養	柳津町	やないづふれあい館	柳津町商工会 ☎0241-42-2552
		只見町	季の郷湯ら里	季の郷湯ら里 ☎0241-84-2888
		三島町	早戸地区	三島町教育委員会 ☎0241-48-5599



～JR只見線秋の特別列車運行情報～

SL只見線紅葉号

11月2日(土)・3日(日)

風って只見線紅葉号

10月26日(土)・27日(日)、11月9日(土)・10日(日)

◎会津若松駅～会津川口駅間(1日1往復)

発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)
発行日：9月15日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525
http://www.okuaizu.net ☐webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。